

昭和19年度業務報告

第一 漁 撈 部

1 相 鮫 漁 業 試 験

目 的 相鮫肝臓より抽出する油は高級潤滑油として使用する爲めその漁場を調査せり。
試 験 船 海幸丸 (帆船総屯数 27.16 屯 無空氣噴油式ディーゼル機関 90 HP)
試 験 期 間 自 昭和 19 年 4 月 21 日 至 同年 5 月 30 日
試 験 場 所 北緯 33 度 25 分 東經 135 度 20 分 附近
出 漁 回 数 7 回 (成績別表の通り)
乗 組 員 調査員 1 名 船長以下 7 名
漁 具 相鮫延繩

2 深 海 手 繰 網 漁 業 試 験

試 験 船 海 幸 丸
試 験 期 間 自 昭和 19 年 6 月 15 日 至 同月 19 日
乗 組 員 調査員 1 名 船長以下 14 名
漁 具 深海手繰網

3 機 船 底 曳 網 漁 業 試 験

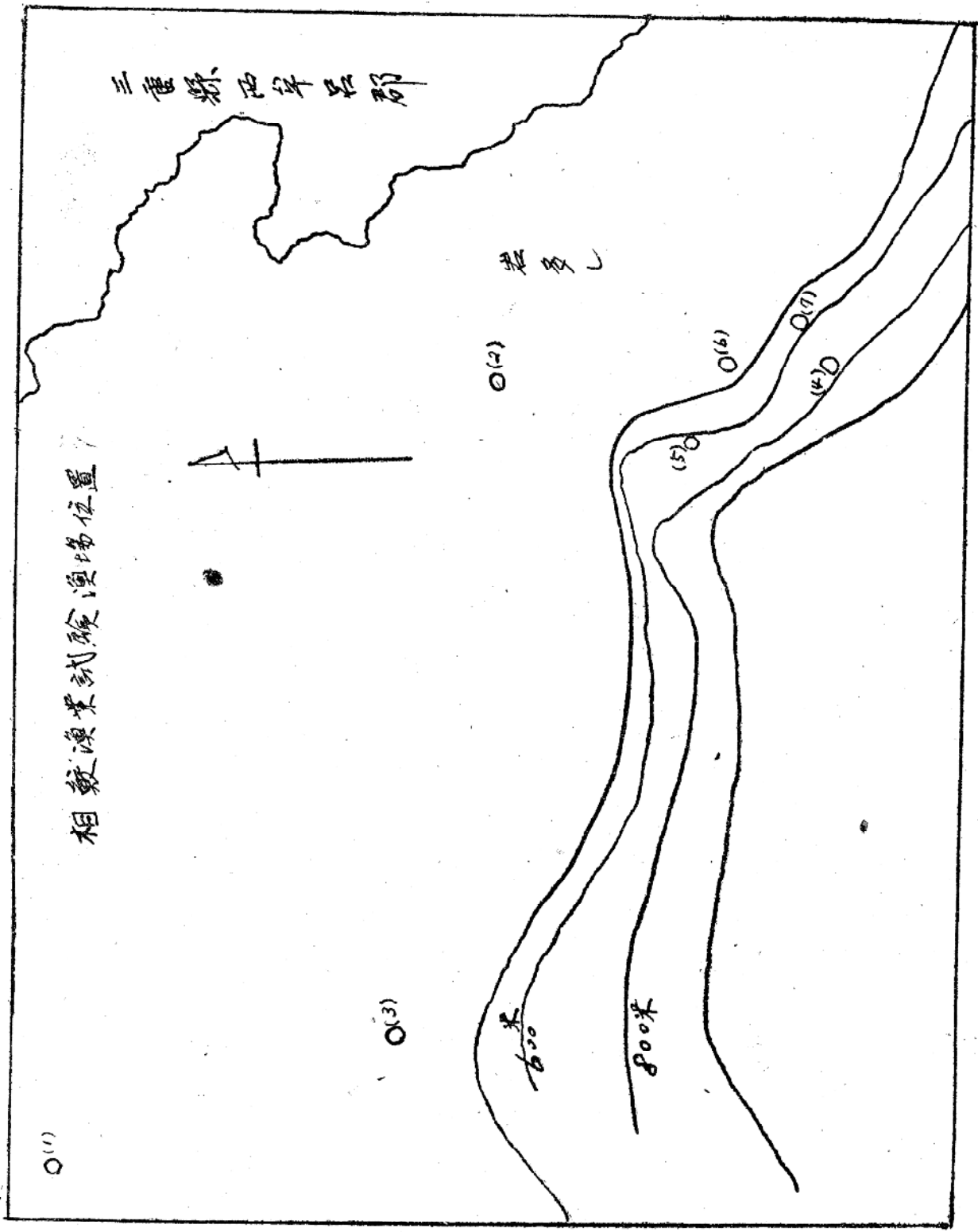
試 験 船 海 幸 丸
試 験 期 間 自 昭和 19 年 7 月 31 日 至 昭和 20 年 2 月 16 日
乗 組 員 調査員 1 名 船長以下 6 名
漁 具 機船底曳網
(成績別表の通り)

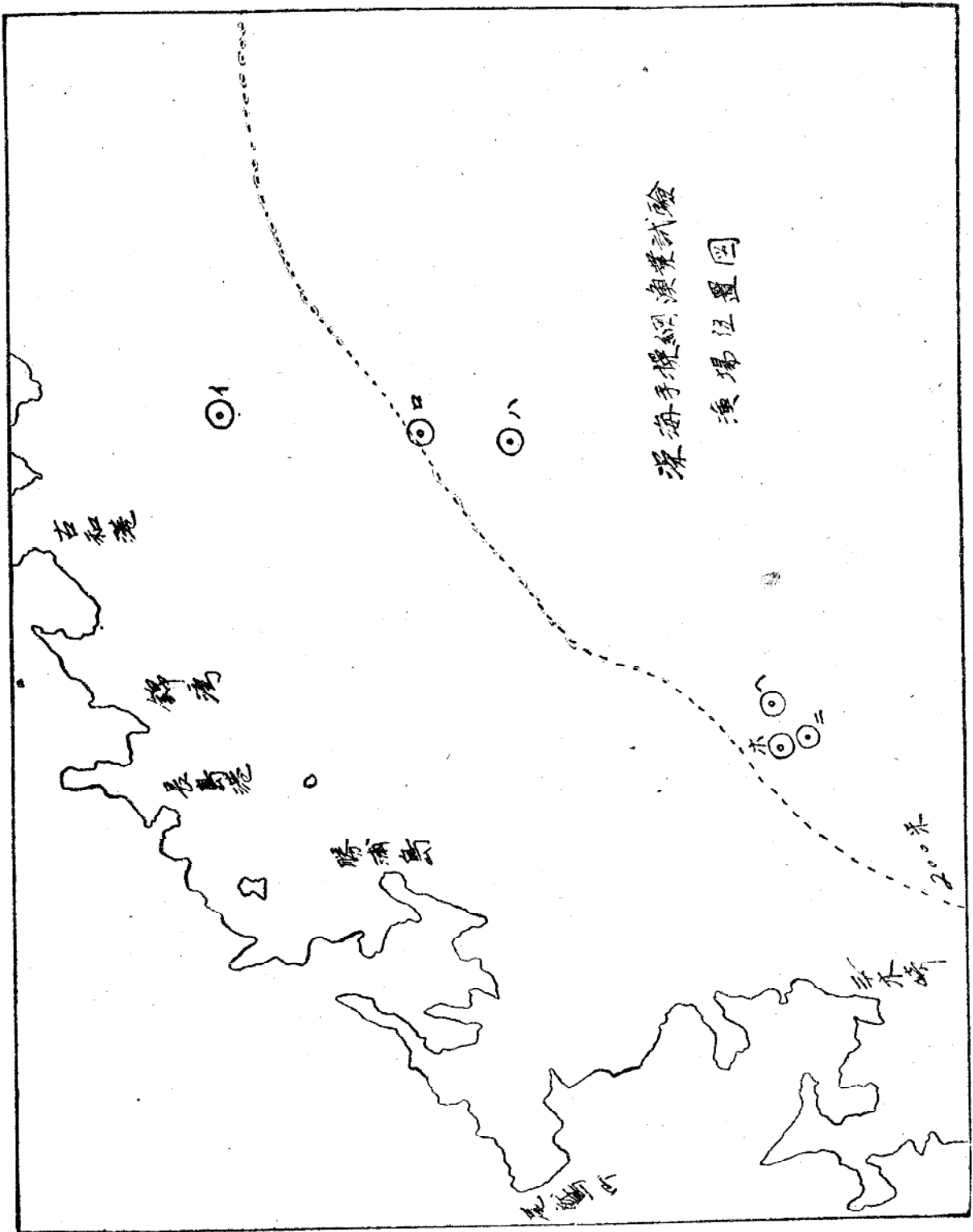
相 鯨 漁 業 試 驗 表

月	日	出 港 時 分	入 港 時 分	投 繩 時 分	揚 繩 時 分	投 繩 方 向	水 深	底 質	水 温	潮 流	天 候	氣 温	氣 压	風 向	風 力	獲 物	
																鯨	銅
(1)	4月21日	3.30	16.30	8.30	10.50	南南西				北	晴			西	3	鯨 47	銅 9
(2)	4月22日	3.40	20.00	6.00	6.30	"					"				0	鯨 2	銅 7
(3)	4月23日	4.30	1.30	8.00	9.00	南 西	200*	砂 泥	17°	北 西	"	19°		北 北 西	4	鯨 2	
(4)	4月24日	4.30	17.30	7.00	13.30	南 東	500	泥	19°	南 東	晴 後 曇	16°		1~3	鯨 69	銅 10	
(5)	4月27日	4.30		6.50	9.30	南 西	650	泥 砂 岩	18.5°	南 西	"	20°		北	0.5	鯨 13	銅 18
(6)	"		19.20	13.00	15.40	南 南 東	350	砂 岩	19.5°	南 西	曇	22°		"	1	鯨 2	
(7)	5月1日	4.30	3.20	7.40	11.30	西	500		19°	西	"	29°		北 東	1	鯨 14	銅 8

深 海 手 繰 網 漁 業 試 驗 表

操 業 日 付	漁 場 符 号	水 深	底 質	潮 流 速 度	潮 流 方 向	風 力	風 向	天 候	雲 量	投 網 時 間		曳 網 時 間		揚 網 時 間		時 終	漁 獲 物
										初	終	初	終	初	終		
6月16日	イ	120	F.S.	N E 弱		S W 1		B C.S 3		6.48	7.05	7.10	8.05	9.05	9.18		わが雑魚 1 1/4 1/2
"	ロ	235	M	"		S W 2		B C.S 4		9.42	10.05	10.25	11.20	12.00		目光 あんこう 雑魚 1/3 1 2	
"	ハ	285	M	"		"		C C.S.C 7		12.40	13.00	13.20	14.20	14.50	15.10		あんこう え雑魚 1/4 1/2 1 4尾
6月18日	ニ	260	M	"		S W 1		B C.S.C 5		5.53	6.15	6.30	7.45	8.30	9.20		目光 え雑魚 1/2 1/2 1
"	ホ	232	M	"		"		B C 3		8.45	9.05	9.20	10.30	11.10	11.19		目光 え雑魚 3 1/4 1
"	ヘ	272	M	S W 弱		S W 2		B C.S.C 4		11.50	12.10	12.30	13.50	14.30	15.18		目光 わが雑魚 11 1/4 1





機船底曳網漁業試験表

月	日	7. 31	"	8. 1	"	8. 2	"	8. 3	8. 11	8. 12	"	"	8. 13	"	8. 14	"	
投網時間	{始め {終り	17. 00 17. 20	19. 20 19. 35	1. 30 2. 00	19. 15 19. 30	0. 15 0. 30	19. 25 19. 50	0. 12 0. 26	18. 48 18. 55	0. 16 0. 22	18. 52 18. 58	22. 35 22. 41	2. 00 2. 25	18. 53 19. 00	0. 15 0. 25	7. 03 7. 14	12. 20 12. 25
揚網時間	{始め {終り	18. 20 19. 10	23. 30 24. 00	5. 30 7. 00	23. 00 24. 00	5. 00 5. 45	23. 20 0. 05	4. 30 6. 10	23. 07 23. 40	4. 56 5. 18	21. 52 22. 22	1. 30 1. 55	4. 52 5. 20	23. 25 23. 55	4. 48 5. 25	11. 25 11. 47	16. 50 18. 18
天候	候	B E	B S	C	B S	B	CR S	CR S	B S	B E	B S	B	B	B S	B NW	B	CB
風向	向	E	SE	0	SE	0	SE	SE	E	E	SW	0	0	SW	I		CB
風力	力	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1		0
気圧	圧								760.6	786	769	760	769	769	770	760.8	770
気温	温	23	23	27	28	25	25	23	29.5	27	27	27	26	30	28.5	27.5	30
水温	温	25	25	24	25	24	20	25	27	27	27.5	27	26.5	28	27.5	28	27.8
曳網方向	向	E	E	E	W	W	W	W	E	E	E	W	W	W	E	W	SW
漁場位置	置	渥美外海	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
漁獲物		あかしえび	1.200	2.800	1.100	2.500	4.500	4.800	3.350	4.650	4.350		1.650	3.650	3.650	3.150	3.250
		くるまえび	1.000	1.400	1.200	1.300	1.300	3.000	5.950	4.650	0.650		6.150	1.650	2.650	2.650	2.650
		は	5	18		24	24	17	4.450	1.200			尾 2	3.850	2.150	6.150	6.350
		い、だこ	0.600		3.800	0.700	4.500		0.450	2.050				0.550	2.350	3.450	0.950
		た	35	12					1.350	3.450				0.550	2.350	3.450	0.950
		かれい	1.400	1.400											0.550	2.150	2.550
		に	25	12		17		11	1.250						1	6	3
		こうそう	5	42		17		5							1		3
		き	尾 32	尾 42		5		5			1.150		尾 100		1/2		3
		だるま	尾 4	尾 4		5		15									3
		すなごち	0.200					1	3.550	1/3							1
		ひらめ	(小)5尾 (大)2尾				3	18	1.450	5.750			4.650	2.250	1	2.650	1.200
		さめ	尾 1	尾 4													1
		えい	5						0.250				尾 31				
		がざみ		9.200	2.100	2.400	1	21	12.660	8.100	4.550		8.500	2.950	10		2

月	日	8. 27	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1	9. 1	10. 31	11. 1	11. 1	11. 1	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 14	11. 14	11. 14	11. 14	
投網時間	{始め	3. 55	6. 25	3. 35	10. 04	22. 30	1. 45	5. 20	9. 45	2. 05	2. 05	5. 20	10. 30	2. 00	6. 40	5. 20	24. 05	17. 00						
揚網時間	{終り	4. 08	6. 32	3. 45	10. 10	22. 45	2. 05	5. 25	10. 00	2. 18	2. 18	5. 30	10. 40	2. 10	7. 01	5. 35	24. 15	17. 05						
天候	B	750.9	760	760.5	768	769	766	763	765	765	765	766	770	770	770	765	768	767						
風向	N																							
風力																								
気圧		30.1	26.0	30.0	28.0	27.0	27.5	20.0	16.5	16.0	21.0	21.0	12.0	15.0	19.0	20.5	18.5	14.0						
気温		28.0	28.5	29.0	28.3	27.0	26.0	18.0	21.0	21.0	21.0	19.0	21.0	20.5	21.0	21.0	14.0	17.5						
水温																								
曳網方向																								
漁場位置	渥美外海																							
あかしゑび	貫	4.350			1.850	3.950	1.850	1/5	7.450	1/4	1/2	1/2			尾	2	80	1/4						
くろまゑび	貫	5.950			0.850	4.150	3.750	1/4	4.550	1/3	1/2	1/2	尾	5	3	1/2								
はも	ト口	1	1				貫	ト口	1/3	1/2	1/3	1/10	尾	3		ト口								
いゝだこ	ト口	30	30		貫	1.250	尾	15																
たい	尾	20	32	23	貫	0.450	貫	4	尾	4	3	ト口	20	2	貫	2.650								
かれい	(小)貫	1.050	2.010	(小)尾	(小)貫	尾	8																	
にし																								
こうそう																								
きす	貫	2.850			0.250										貫	尾	1	3.650						
だるま																								
すなごち	ト口	1/4			貫	1.950	尾	1	2															
ひらめ	(小)貫	1.100	3.000	尾	(中)尾	10	貫	1/2	尾	4	3													
さめ								ト口	1/4				尾	4										
ゑい	貫	3.050							ト口	1/4	1/2	1/2	貫	8.450	貫	ト口	1							
がぞみ	ト口	3	8	2	貫	4.850	貫	ト口	9	1/3			尾	6	3									

月	日	11. 14	11. 15	"	"	11. 16	"	"	11. 17	"	"	11. 18	11. 22	11. 23	11. 24	"	11. 25	
投網時間	{ 始め	22. 32	2. 35	6. 55	17. 50	3. 30	17. 15	21. 35	2. 35	17. 15	21. 30	2. 55	14. 55	21. 30	8. 30	17. 00	2. 12	
	{ 終り	22. 36	2. 50	7. 03	18. 00	4. 00	17. 20	21. 40	2. 40	17. 20	21. 40	2. 59	15. 05	23. 00	8. 45	17. 08	2. 23	
揚網時間	{ 始め	1. 45	6. 10	10. 23	21. 15	6. 20	21. 00	1. 40	6. 00	20. 55	2. 13	6. 19	20. 00	2. 00	13. 30	21. 20	6. 10	
	{ 終り	2. 00	6. 34	10. 28	21. 56	6. 35	21. 20	2. 00	6. 25	21. 15	2. 37	6. 40	20. 30	2. 22	13. 50	21. 40	6. 35	
天候	B																	
風向	B																	
風力	NNW																	
気圧	768	767	768	768	768	765	764	765	766	770	771	770	765	778	768.0	768	769	
気温	14.0	14.5	15.0	15.0	14.5	12.0	12.0	11.0	10.0	17.0	16.0	11.0	18.0	16.0	18.0	11.0	12.0	
水温	16.0	16.0	18.0	19.5	18.0	15.0	15.0	15.0	18.0	17.0	17.0	19.0	18.0	16.0	19.0	12.0	11.0	
曳網方向																		
漁揚位置	渥美外海																	
漁獲物	あかしみび	1/2	貫 3.950	0.350	0.150					ト 1/4	1/4			尾 11	3			
	くるまみび		尾 12		貫 0.150	尾 10	17			10	17		3	2		9	9	
	はも		尾 7		貫 0.650	ト 1/2	1/3	1/2			1		1/2	尾 3			5	
	いゝだこ																	
	たいてい		貫 4.050	尾 4		5	6	3	10		10	3		ト 1/3	1/2		1/2	
	かれい																	
	にし								ケ 7	30								
	こうそう	尾 10																
	きす																	
	だるま												ト 1/3					
すなごち				尾 3								1						
ひらめ					尾 5					4				4				
さめ		貫 3.750	尾 6	10	ト 1/3	尾 6			3			3		2		ト 1/4		
みい					貫 0.650	ト 1/4	1/4	1/4	尾 6	5	ト 1/3			尾 5	1	ト 1/4	1/3	
がぞみ		貫 3.250	尾 3			11	ト 1/2	4										

月	日	11. 25	"	11. 26	12. 22	12. 23	"	"	"	12. 24	"	"	"	12. 26	"	2. 7	
投網時間 {始め {終り 揚網時間 {始め {終り		16. 57	21. 15	1. 30	16. 10	8. 00	9. 45	12. 10	14. 35	15. 50	6. 30	8. 10	10. 25	12. 10	7. 50	10. 10	6. 30
		17. 12	21. 30	1. 47	16. 25	8. 10	9. 55	12. 25	14. 40	16. 05	6. 40	8. 20	10. 35	12. 40	8. 00	10. 20	7. 00
		20. 40	0. 40	4. 00	17. 00	9. 25	11. 15	13. 35	15. 15	16. 30	7. 50	9. 30	11. 30	14. 00	9. 30	12. 00	8. 15
天 風 風	候	CR	R	R	B NNW	C NW	C NW	B NW	B	C NW	C NW	C NW	C NW	C N	B NW	C E	
	向																
	力																
気	圧	767	767	766	767	767	767	767	765	760	765	760	760	759	766	765	
	温	15.0	14.5	14.5	11.0	8.0	8.0	14.5	13.0	12.5	7.0	10.0	9.0	11.0	8.0	10.0	
	水	18.0	17.0	17.0	12.0	11.5	10.5	12.0	12.0	12.5	11.0	11.0	10.5	12.0	10.0	12.0	
曳網方向																	
漁場位置	渥美外海																
漁獲物	あかしゑび		ト口 1/3							尾 30	4	36				30	
	くるまゑび	尾 8	ト口 1/4					尾 2									
	は	尾 5	2	2													
獲物	いゝだこ																
	た	尾 2	尾 2	8			ト口 1/2	尾 50			ト口 1/3	1/2	1/2		1/4	ト口 1/6	
	か							尾 5									
獲物	に																
	こうそ																
	き																
獲物	だるま																
	すなごち																
	ひらめ	尾 4	尾 4	7	4		2	1	2	2	2	8	4	1		ト口 1/6	
獲物	さ	尾 9				5	6	5									
	ゑ	ト口 1/4															
	が	尾 3	尾 3	1													

月	日	2. 7	"	"	"	2. 15	"	"	"	"	"	"	2. 16	"	"	"
投網時間 {初め {終り 揚網時間 {初め {終り		9. 00	11. 30	14. 30	4. 20	7. 25	10. 40	12. 50	15. 10	16. 45	6. 30	9. 25	12. 30			
		9. 15	11. 50	14. 40	4. 35	7. 35	10. 45	13. 10	15. 18	16. 50	6. 35	9. 35	12. 40			
天候 風力		9. 30	13. 50	16. 20	6. 50	9. 20	11. 55	14. 30	16. 30	18. 50	8. 25	11. 05	13. 35			
		11. 00	14. 00	16. 45	7. 15	9. 35	12. 20	14. 45	16. 40	19. 00	8. 30	11. 30	13. 50			
気圧																
気温		6.0		7.0	6.0	6.0	8.0									
水温					8.0	8.0										
曳網方向																
漁場位置		渥美外海														
漁獲物	あかしゑび	尾 30	30	10	30											
	くろまゑび															
	は															
	いゝだこ															
	た															
	かれい															
	にし															
	こうそう															
	き	1トロ1/2	1	1/3	1/2	1トロ1/2	1	1	1	尾 30	トロ 1					
	だるま															
すなごち																
ひらめ																
さめ																
ゑい																
がさみ																

第二 製 造 部

1 戦時食糧製造試験

1. 藤五郎鯿薩摩揚製造試験

本縣蝦待網漁業により漁獲された藤五郎鯿の食品利用價值向上を図るため薩摩揚を製造試験する。

イ、試験場所 本 場

ロ、試験期日 昭和19年5月31日

ハ、試験経過

処 理

原料は1尾毎に鱗を落し頭部を除き、町嚙に洗滌して肉挽機を2回通し搗潰したる後、調味料を加え普通製法により油燻する。

調味割合

品 目	摘 要	数 量
砂 糖	挽肉1貫匁に対し	50匁
片 栗 粉	〃	150匁
食 塩	〃	12匁

歩 留

項 目	重 量	原料に対 する %	摘 要
原 料	1.650 ^匁	100	除 鱗、除 頭 後 の 重 量
調 理 後	1.350	82	
肉 挽 後	1.050	64	
調味料混入後	1.430	87	
製 品	1.350	82	

ニ、品 評

製品は黒色なるも極めて美味にして好評を得た。

2 「めくらうなぎ」鞣皮製造試験

「めくらうなぎ」の皮は色沢優美にもかゝらず、殆ど利用されぬまま廃棄するの現状にあり、これを皮革製品として其の利用價值を高めんとするもので、昨年度雜試験の結果引続いて実施せしところ、其の質、脆弱にして水洗せば破れ易く、乾皮中油の滲出甚だしい等、到底皮革の價値を認められず、今後一層の研究を要する。

第三 養 殖 部

1 小 鮎 移 殖 事 業

前年度に継承し各関係河川組合と協同し、琵琶湖産小鮎 1313,500 尾 を 矢作川、天龍川、豊川、庄内川、木曾川の各河川本支流に移殖放流する外、池中養殖の目的を以て 90,000 尾の購入斡旋をなせり。

イ、移殖期間 自 昭和19年4月20日 至 昭和19年7月4日

ロ、購 入 先 滋賀縣水産試験場小鮎配給協会

ハ、放 流 数 河川放流 1,313,500 尾

内 訳

縣 425,650 尾

組 合 887,850 尾

養殖池放養 90,000 尾

合 計 1,403,500 尾

ニ、河川別放流数

水 系 別	河 川 別	尾 数
矢 作 川	矢 作 川	270,000 尾
	巴 川	117,000
	豊 富 村	45,000
	名 倉 川	87,000
	河 合 村	52,000
	型 野 村	15,000
	宮 崎 村	21,500
段 戸 川	55,000	
豊 川	寒 狭 川	212,000
	大 滝 川	55,000
	三 輪 川 下	50,000
	豊 川 上	30,000
天 龍 川	本 郷 町	146,000
	下 津 具 村	27,000
	大 入 川	60,000
庄 内 川	庄 内 川	50,000
木 曾 川	木 曾 川	21,000
計		1,313,500

ホ、池中養殖斡旋先並に数量

住 所	氏 名	尾 数
宝 飯 郡 長 山 村	加 藤 義 太 郎	40,000尾
南 設 樂 郡 新 城 町	渡 辺 壽 一	25,000
渥 美 郡 泉 村	下 村 倉 治	25,000
計		90,000

2 稻田養鯉用種苗配給事業

1. 総 尾 数 858,950尾

内 訳

額田郡岩津町農業会	422,000尾
八名郡七郷村農業会	60,850尾
南設樂郡作手村農業会	122,500尾
豊川市豊川町農業会	16,000尾
宝 飯 郡 塩 津 村	60,000尾
北設樂郡稻武町農業会	53,000尾
〃 三輪村農業会	40,000尾
豊 橋 市 魚 町	15,000尾
渥美郡高豊村	15,000尾
南設樂郡海老村農業会	25,000尾

2. 各国民学校鯉種苗配給

〔碧 海 郡〕

依佐美村半高国民学校	500尾
富士松村北国民学校	5,000尾
新 川 国 民 学 校	500尾
刈谷町亀城国民学校	500尾
刈谷町衣浦国民学校	100尾
高岡村国民学校	500尾
安城第一国民学校	3,000尾

〔額 田 郡〕

豊 富 村 青 年 学 校	250尾
常 盤 南 国 民 学 校	500尾
岩津町細川国民学校	400尾
本 宿 国 民 学 校	10,000尾

〔岡 崎 市〕

岡 崎 市 国 民 学 校	200尾
美 合 国 民 学 校	1,000尾

〔西加茂郡〕

高橋村第一国民学校	150尾
小原村福原国民学校	500尾
拳母町第三国民学校	1,500尾
〃 第一国民学校	300尾

〔東加茂郡〕

松平村岩倉国民学校	1,000尾
下村阿藏国民学校	500尾

〔知多郡〕

旭村東国民学校	200尾
岡田国民学校	500尾
東浦村片葩国民学校	500尾
阿久北第一国民学校	500尾
野間町第二国民学校	1,500尾

縣下溜池利用の目的を以て公魚卵を夫々人工孵化放養せり。

放 養 池	面 積	放 養 数	採 卵 地
油 ヶ 淵	100 ^{町歩}	360万粒 120万粒	油 ヶ 淵 霞 ヶ 淵
入 鹿 池	150	400万粒 120万粒	油 ヶ 淵 霞 ヶ 淵
大 井 池	8	120万粒	霞 ヶ 淵
鵜 平 戸 瀬 川	10	120万粒 120万粒	油 ヶ 淵 霞 ヶ 淵

3 浮 筈 試 験

昭和17年並に18年の両年度の三谷地先及び田原灣の試験に於て、縦38の樫粗朶その他に比べ5、6倍の成績を挙げ、浮筈の性能が優秀であることが概略明かにされたが、縣下全般に普及するには未だ不十分なる処多く、そのため更に本年度は田原灣に於て干出時間を異にせる筈の成績を驗べ、以て種子附着良好層を追究したのであるが、その結果を此処に取纏めることにする。

別に縣下漁場への移殖にも力を注いだが、取纏めて発表する迄の結果を得るには至らなかつたのは遺憾である。猶、本試験には金子政之助氏の御指導を仰ぎたることに對し、厚く謝意を表する次第である。

1. 試 験 場 所

19年度同様田原灣浦地先に於て浮筈試験を実施したのであるが、本漁場は從來粗朶の種付場として相当利用されて居り、風波の当りが弱く、又種の数が多いことが浮筈の種付場として絶好の漁場である。

上記のために発表以外に縣下への移殖筈及び大阪府及び石川縣への移殖筈も、此処で種付を行い夫々種付には相当な成績を挙げ得た。

2. 試験簀の構造

形は朝鮮式と同一であるが、簀の大きさは幅1間、長さ5間で、移植したものには本吊を採用し、田原湾のものは俗称ゲタバキ式と称する方法を採用した。

簀の割竹は目廻り6寸乃至5寸の眞竹を使用した。中には稍肉薄のため軟弱と思われるものも含まれていたが、出来るだけ強度のものを使用した。

編繩は4分繩を特別に自製したものを使用した。吊繩は特別製の製繩機により充分硬繩を自製したが、熊本縣に於て製造する硬繩の如き優良なるものは得られなかつたため、波浪高き地方へ移植したものは充分使用に耐えなかつた処もある。併し田原湾のものは方法を異にする控繩であるため、それに加わる力も割合に少なく、この方は3分硬繩を使用し充分に耐えた。

前記ゲタバキ式とは第一図の如く、竹を以て巾8尺の台を4個作り、これを適當の干出時間の高さに定めるべく、あしの長さを決定する。

簀は潮が引けばこの台に乗り満ちるに従い浮上し浮動距離を制約する控繩の長さにより調節する。台竹の長さは8尺とした。

控繩は台より直接とつた併し、これは浮力により台が期間の途中で抜けたものあり、又、隣接簀との間隔を充分にとらなかつたため互に接触して附着海苔を切断し、何れも両側3尺位は殆ど摘採するに至らず、従つて生産海苔は約2割減となつた見込である。

右の結果控繩を縛るため別に杭竹を4間置に打込み、これから控繩をとること及び隣接との簀の間隔は少くとも1間以上とることが肝である。

又、簀の編方及び繩の出来具合により折角の簀も壊し易いものとなり、本年度に於ては初めて多数の簀を取扱つた関係上、簀の編方に頗る雑があり、割竹が養殖期間半にして波のため左右に揺れ、終には脱れ落ち、附着せる海苔を擦切つたものが相当あり、特に移植したものは甚しかつた。

3. 試験簀の高さ

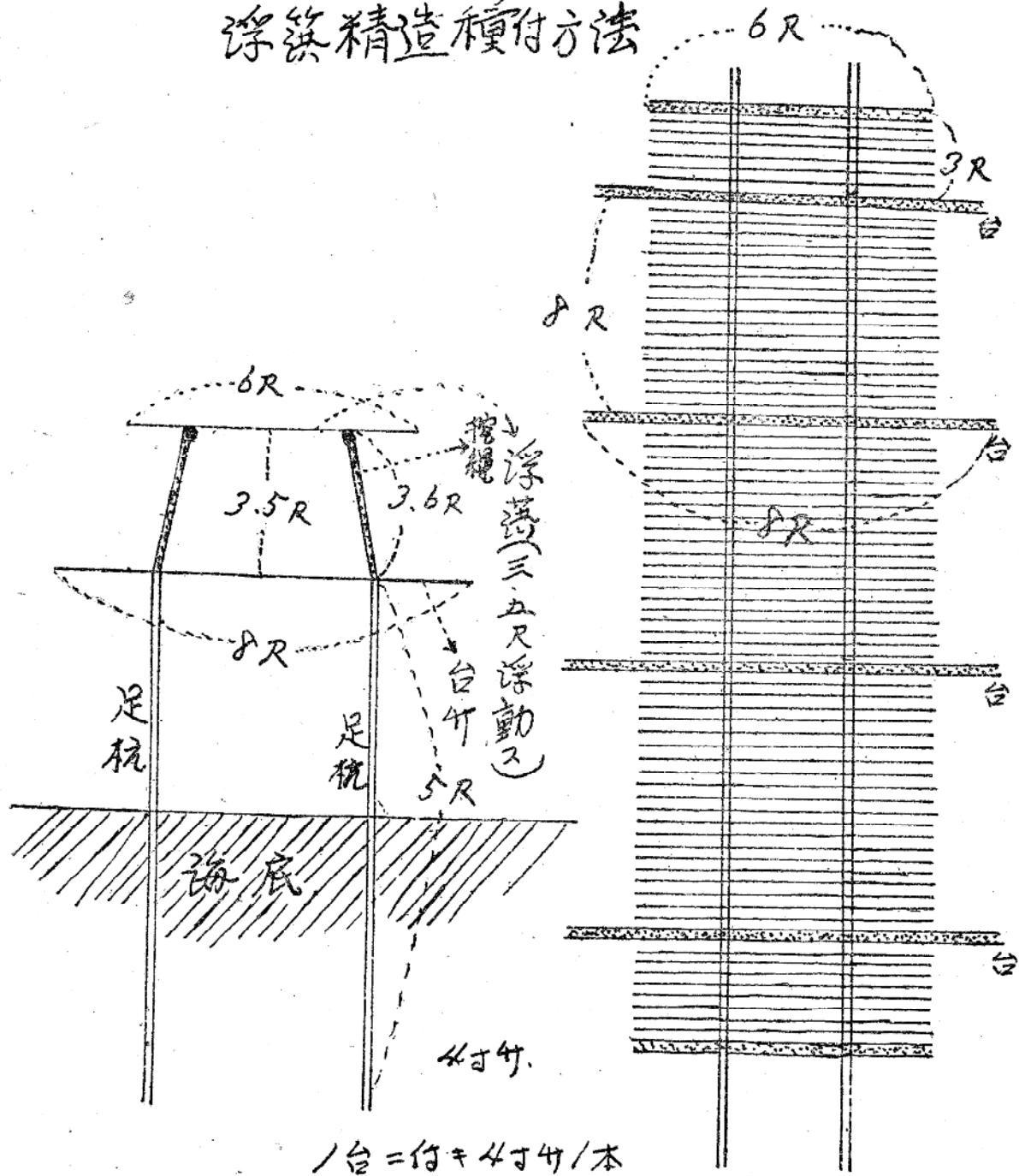
昨年度の高さは(最低位置)9月小潮の満潮面より、下3尺余の高さ(9月29日、大潮)の干出時間3時40分を標準として吊下げたのであるが、本年度は試験場所に標柱を建てこれを地盤より上に計り2尺、2尺5寸、3尺及び3尺5寸の4種類の高さの台を作り、この位置より上3尺5寸浮動可能の様に控繩をとつた。

この標柱によれば、昨年の高さは約2尺7寸に相当する。併し右の高さも12月7日の激震の結果3、4寸の海底沈下により干出時間に多少の減少を生じたため、所期の干出時間の4種は予定通りに実施不能となり、従つてその成績を充分確めるに至らなかつた。

次に各簀毎に干出時間を調べると、第一表の如くである。(西浦の驗潮儀と浦に於ける実測より算出した)

猶、1月13日の余震により驗潮儀の存在地が3尺未滿上昇したため、その後の記録は求めることが出来なかつた。

(才一圖)
 浮築精造種付方法



[第一表] 筵 の 干 出 時 間

筵 高 さ	2.0	2.5	3.0	3.5
9月 2日	2.30	4.05	5.0	5.35
10	0	0	1.35	2.25
16	1.10	2.30	3.40	4.25
25	0	0	0	3.0
10. 1	3.20	4.05	4.40	5.20
11	0	0	2.0	3.55
16	2.15	3.20	4.10	4.50
24	0	0	.10	4.0
31	2.40	3.30	4.10	4.45
11. 8				
15				
23				
29				
12. 7 <small>小</small>	0	0	0	0
14 <small>大</small>	0	0	0	0
22	0	0	0	0
29	0	0	0	1.35
1. 8	0	0	0	0

4. 海 況

本年度の水溫は9月15日迄は平年に比べ1度乃至2度高溫であつたが、9月20日以後は略平年通りに漸次降下し、10月3日には22度9分となり、建込時期を迎え同12、3日頃迄続いた。それ以後は大體20度以下に降下した。

併し10月7日の颶風のためそれ以前の建込のものは多く流され、それ以後のものは附着数にはたいした減少を見なかつたが、發育が遅れた粗朶があつた。(11月末に於いても肉眼視不能) 11月の末又は12月の中旬の間に例年はよくどんよりした日が続き、そのため海苔の腐れを見るのが往々あるが、本年は11月末頃から急に水溫降下し、その様な心配は全然なかつた。寧ろ1月からは水溫の低下甚だしく、海苔の伸長には低過ぎとなつた感があつた。

三河灣一般の粗朶は2月以後に於いて摘採の盛期を迎え、4月一杯乃至5月の一潮迄も摘採し、それは例年より二潮乃至三潮の延長である。

比重は田原灣は三河灣一般より平均して常に低く、20乃至17度を上下している。

猶、漁期中に於ける田原湾の水溫及び比重は、第二表の通りである。

[第二表] 田原湾浦の水溫及び比重

観測月日	水 温	比 重	観測月日	水 温	比 重
19. 9. 21	23.6	18.86	12. 6	11.0	17.32
26	23.7	20.21	15	7.3	
10. 1	22.0	20.50	27	5.0	
5	21.4	20.17	20. 1. 4	5.0	
10	15.1	15.17	21	3.2	
15	16.3	12.62	26	3.9	
19	19.0	18.29	2. 4	3.1	
29	10.0	17.27	7	3.7	
12. 3	9.8	18.34	28	4.5	

5. 試 験 経 過

本試験の筈は10月5日(大潮)建込みしたのであるが、水溫は別表の通り21.4度にて先ず無難な処、当日は曇天にてこの点も條件は上々であつた。

併し明後10月7日の颯風により、風波には安全地帯と思われている浦地先には逆の東風に見舞われ、然も風上に猛棕竹の種粗朶が建込んであつたのが1本残らず抜け、それが大部分浮筈に引掛り共に一晩揉まれたため、東側の筈は相当被害を受けたが西側のものは殆んど耐え、試験筈の4台は幸に被害が無かつた。東側のものは繩の切れたもの、台の抜けて筈が地底に落ちたもの或は筈と筈とが接触して破損したもの等生じ、その結果台より低く下つたものは修理が遅れて青海苔の附着を見たが、他は青海苔の附着は僅少にして、又黒海苔の附着数も充分で種は先ず好成績であつた。その後肉眼で見られるようになったのは

- 1号(2尺の高さのものは以後1号と称す)は10月19日で建込後13日
 - 2号(2.5尺の高さのものは以後2号と称す)は1号より2、3日遅れた
 - 3号(3尺の高さのものは以後3号と称す)
 - 4号(3.5尺の高さのものは以後4号と称す)
- } は相当遅れたが明細不明

○ 10月19日

建込後43日目には1号は最長8寸平均3.5寸迄に伸長し、既に第1回摘採可能の域に達した。

2号及び3号も平均3寸及び2寸と夫々伸長し好調である。

4号は平均5分程度にて他の筈に比べ相当遅れている。

併し青海苔の附着は4号、3号極めて少く、2号、1号は約3%位である。(肉眼にて大略を決定した)

黒海苔附着数は何れも良く現在の処差異は認められない。

○ 11月29日

1号及び2号は共に平均4寸に伸長、3号は2寸にて前回と殆ど変りなく、4号は平均1寸に伸長

した。

青海苔は1号及び2号は前回より稍減少し、3号は稍増加す。

○ 12月2日

1号及び2号の摘採を行う。

1号370枚(1間当74枚) 2号350枚(1間当70枚)

品質は共に極めて優良にして青混在なければ、知多郡の西浦の第1回海苔より優秀なるを認めた。

○ 12月15日

1号及び2号は第1回摘採後一潮にて2.5寸乃至3寸伸長し、3号はその後3寸、4号は2寸にて前者に比べ伸長は相当遅れているが原藻は優良である。

青は1,2,3号は何れも前回に比べ相当増加している。

○ 12月29日

1号、2号及び3号は平均5寸に達し、成育の盛期を思わせる。又、青海苔は12月15日より今日迄に全部消失し何れも皆無となつた。

○ 1月2日

第2回摘採を行う。

1号520枚(1間平均104枚) 2号810枚(1間平均162枚)であるが、3号及び4号は盗難に会い3号は約1割減、4号は皆無となつたのは遺憾である。

○ 1月31日、2月24日

その後の伸長は何れも香しからざる上に、最も期待せる2号は更に盗難に会うと共に、簀の編方不充分のため割竹の抜けるもの多く、仮令抜落ちるまでなくとも移動のために附着海苔は切れ殆んど摘採するに至らないで終つてしまつた。

以上の成績を綜合するに、1号は890枚、2号は1,160枚、3号590枚にて、1間平均に於いて夫々178枚、232枚、118枚となり、漁期を通じての完全なる試験の結果とは云い難いが、3号、4号を除き概略の成績は推定出来ると思う。

又、前記の通り両端の3尺づゝ8台の間隔の狭過ぎた関係から摘採不能となつたので、實質は4間という訳であるから盗難等と合せて將來に於いてもつと良い成績をあげるのは困難でないと思う。

以上は試験簀4台分の概略であるが、別に高さ2尺8寸で5間もの14枚の採取量を調べたが、その成績は左記の通りで1間当り300枚摘採した。これもやはり簀の両端3尺づゝ摘んでいないので試験簀と条件は同一であり、これを試験簀と比較すると2尺5寸よりこの方が多少優れている。

第1回	12月6日	335枚
第2回	1月4日	815枚
第3回	3月25日	350枚
合計		1,500枚
1間平均		300枚

海苔養成長並に摘採一覽表

月日	10月6日	10月25日	11月19日	11月29日	12月9日	12月15日	12月29日	1月31日	2月24日	合計	1問当平均
一 号 (二尺)	建 込	最大肉眼的相当物 2.2寸	長さ 8寸 3.5寸 平均 3.5寸 周辺稍白色化	長さ 7寸 4寸 平均 4寸 附着多数	水中にあるため 調査不能	長さ 7寸 2.5寸 平均 2.5寸 附着多数	長さ 8寸 5寸 平均 5寸 附着多数	長さ 2.5寸 平均 2.5寸 附着多数	割竹のため殆んどなし	890枚	178枚
二 号 (二尺五)	建 込	建 込	長さ 4寸 3寸 平均 3.5寸 附着多数	長さ 8寸 4寸 平均 4寸 附着多数	長さ 1.5寸 平均 1.5寸 附着多数	長さ 7寸 3寸 平均 3寸 附着多数	長さ 5寸 平均 5寸 附着多数	長さ 5寸 平均 5寸 附着多数	長さ 5分 平均 5分 附着多数	1,160枚	232枚
三 号 (三尺)	建 込	肉眼視不可 肉不	長さ 3寸 2寸 平均 2.5寸 附着多数	長さ 6寸 2寸 平均 2寸 附着多数	長さ 3寸 平均 3寸 附着多数	長さ 7寸 2寸 平均 2寸 附着多数	長さ 5寸 平均 5寸 附着多数	長さ 2.5寸 平均 2.5寸 附着相当		590枚	118枚
四 号 (三尺五)	建 込	肉眼視不可 肉不	長さ 1寸 5分 平均 1.5寸 附着多数	長さ 5.3寸 1寸 平均 1.5寸 附着相当	長さ 2寸 平均 2寸 附着相当	長さ 3.5寸 2寸 平均 2.5寸 附着多数	長さ 3寸 平均 3寸 附着相当	長さ 3寸 平均 3寸 附着相当	黒 70枚	590枚	118枚